



園 だ よ り

令和7年 3月号 認定こども園 長者幼稚園

Tel 45-1941 fax 45-1943

ホームページ<http://choja-youchien.com/>



2025/2/28 発行



年長組さんとの思い出 日本たんぽぽを育てて

園長 田村 元

桃の節句が近づき、一段と春の気配が感じられるようになりました。

今年度の園の教育・保育活動も3月を残すのみとなりました。年長組のこども達はもうすぐ卒園式を迎えます。また、進級するこども達は卒園児へのプレゼントのためにちゅうりっぷを育てたりお祝いの準備を進めたり。いよいよ別れと出会いの季節の到来です。

今年の私の年長組さんとの思い出はたんぽぽを育て上げたことです。長者幼稚園のまわりの福田の山周辺には日本たんぽぽが群生しているようなのです。(がくの形状から判断して)。幼稚園の近くに住んでおられる、本園理事の前田氏からたくさんのたんぽぽのわた毛(種子)をいただき、たんぽぽを育てることになったのは、こども達が年中さくら組のころでした。たんぽぽはどうやら暑さが苦手なようです。夏が過ぎ涼しくなったころが植え時という情報を得て種植えがスタートしました。2~3週間ほどで、どの子の鉢にもかわらしい芽が出てきました。こども達も、担任も私も大喜びでした。本葉のギザギザは確かにたんぽぽであることを教えてくれます。その後、つぼみがでて、みるみる茎が伸びて、黄色い花が咲いて、そして綿毛となって空へ飛び立っていきました。たんぽぽは一度花が咲くと次の年も咲く多年草です。春には、年長組のこども達の思いをつないで幼稚園の庭で美しく咲き誇ってくれることでしょう。こども達は、今、卒園に向けて幼稚園生活を振り返りながらいきいきと過ごしています。



◇風に運ばれていくタンポポの綿毛、この綿毛のひとつひとつにタネがついています。

土の上におちたタンポポのタネ。その成長のようすをみていきましょう。

白い根がのびはじめました。

そして、緑色の葉が出てきました。

この小さな2枚の葉が、タンポポの子葉です。

子葉の間から、新しい葉が出てきました。

新しい葉は、子葉とは違うかたちをしています。

葉はどんどん大きくなり、数もふえていきます。

大きくなったタンポポは、やがて、花のつぼみをつけます。

花が咲きました。

花が咲き終わると、タンポポはタネをつくり始めます。

綿毛を広げました。綿毛の根元にはタネができています。

たくさんのタネが、次々と空に飛び立っていきます。

このようにしてタンポポは、仲間をふやしていくのです。(NHKfor Schoolのサイトより)

☆たんぽぽが育つ様子は(西洋タンポポ)はNHKfor Schoolのサイトで詳しく解説されていますので、親子でぜひご覧ください。

NHKfor School

リンクはこちら↓

